



地域おこし協力隊通信

—第22回—

今年は寒くなるのが早い気がするの...気のせいでしょうか？

お鍋と熱かんがおいしくいただけの季節がやってきましたね。最近ではごま豆乳鍋にぞっこんの私です。



ごま豆乳鍋

完成した壁画(柳町)



地域おこしの一環として10月から行なっていた壁画がやっとできあがりしました！ 思えば、今年の春からコッソリと計画を練り進めてきた壁画制作ですが、初めての事ばかりでなかなか思うように進みませんでした。コストの面や立地条件など次から次へと出てくる問題に頭を抱えっぱなしでしたが、たくさんの方からの助けや助言をいただきました。悪

天候などの影響で制作期間が延びてしまいましたが、2つの壁面とシャッターに描き終えることができました。壁画作家さんは「寒さに耐えながらの作業だったけど、街の方々の温かい言葉がすごく励みになったし、作業の原動力になった」と話していました。

個性的なタッチで独特の雰囲気のある作品ですが、バスケットを連想される壁画ができたと思っています。「バスケットを感ぜられる街・能代」を第一に考え、今後も活動していきたいと思っています。

能代市地域おこし協力隊ホームページ

<http://www.shirakami.or.jp/noshiropianets/>

問合せ

市民活力推進課

☎89・2212



このコーナーでは、市内で操業する誘致企業を紹介します。



No.63

誘致企業編

若い代表をリーダーにさらなる発展へ

株式会社森山製作所

能代工場

今回は、能代工業団地で平成2年8月に操業した株式会社森山製作所能代工場を訪問し、東京の本社から来能していた代表取締役の森山裕友さんにお話を伺いました。

どのような会社ですか

当社は、主に建物などに設置される発電機の防音カバーの製作を行っています。防音カバーは納入先の設置場所や環境に合わせてオーダーメイドで製作するもので、同じものを何度も作ることはほとんどありません。以前は東京にも工場がありましたが、今は能代工場のみです。納入先は全国各地に及んでおり、今年2月には神戸にも営業所を設けました。

能代市で工場を操業して感じることは

私が現職に就いたのが26年6月で、能代市に工場を設立し操業に至った経緯は、正直把握していません。ただ、私

—社員からひとこと—

溶接工

安部 一樹さん
(二ツ井町字下野川端)



一つ一つの部品に合わせ金型を調整していく

が代表を務めさせていただいて感じることは、地域の方々の勤勉さ、社員の仕事に対する意気込み、向上心が非常に強いということです。

今後について

これまで、取引先から製作図面をいただいて、それに基づき、商品を製作していま

したが、一つ一つがオーダーメイドであり、どうしても生産性が向上しませんでした。会社のさらなる発展のために、これまでの受け身の体制から攻めの体制へのシフトとして、自社に設計部門を設けました。今後は、お客様のニーズに合わせてこちらから商品提案し、会社の発展を進めていきたいと思っています。

私が31歳ということもあり、同年代の社員も多く、さらに地元に着した企業づくりをしたいと思っています。

高校を卒業し金融関係の仕事に就きましたが、身体を動かすことが好きだったせいもあるのか、デスクワークのみの仕事に働きがいを感じなくなり退職しました。

友達の紹介があり、この会社に就職しましたが、これまでの仕事とは異なり、初めはとても不安な毎日でした。今は、身体を動かし、物を作ることがとても楽しいと感じています。

社員同士も仲が良く、今年からは社員旅行も行われ、会社の雰囲気がとても良く、充実した日々を送っています。



【会社概要】

代表取締役 森山 裕友
所在地 能代市扇田字扇田11-1
☎58-3171
操業年 平成2年8月
事業内容 防音パッケージの設計・製作、配電盤筐体製作など